

# 琉球・沖縄 年中行事 Q&A

# ウチカビを使いますか? 使いませんか?



## ●Answer

Q 壇をみています。寒  
主人が亡くなり、仏

（80代・女性・Sさん）

**A** 大学院時代に、恩師から『天牛（てんぎゅう）』というお話を聞かせていただいたことがあります。中国のとある村でのこと、お母さんと息子さんが丹精込めて育てた黒牛を市場へ売りに出すことになりました。山河を越え黒牛をつれて歩く途中、村外れですれ違った旅人から「誰も乗せないで牛をつれて歩くのはもったいない」と助言されたそうです。それもそうだと思った2人は、お母さんを黒牛に乗せて歩くことにしました。しばらくするとと、山の麓ですれ違った旅人から「子を思うはずの母が牛に乗り、自分で楽をするのはよくないから、母は降りて子を牛に乗せなさい」と助言されます。それでもそうだと思った2人は、息子さんを黒牛に乗せて歩くことにしました。しばらくすると川の岸ですれ違った旅人から「母を思うはずの子が牛に

乗り、自分だけ楽をするのはよくないから、子は降り、母を牛に乗せなさい」と助言されます。これでは、堂々通りです。それぞれの旅人の助言に困り果て、市の門前に腰を下ろす2人に、天から「母を乗せて助言され、子を乗せても助言されるのなら、母子2人が牛に乗りなさい」との声が聞こえてきたそうです。それもそうだと思つた2人が黒牛に乗り、その様子を見た人々からは、「2人を乗せる立派な牛がいる」と、黒牛は高値で競り落とされたのだそうです。

血統・家系の拡大解釈として、父方の儀式・法要の作法・心得＝しきたりをも含んでいるといいます。Sさんの嫁ぎ先＝ご主人方（父方）の血統・家系をシジと仮定するとき、そのシジはご主人の儀式・法要での根本的・中心的な考え方となります。ご主人方は、ウチカビを使わないという選択をされています。

シジに関する息子さんへの引き継ぎになりますので、「使う・使わない」の判断は、シジという考え方の拡大解釈として、ご主人方を優先するということになりますから使わない選択になろうかと思ひます。



**帰依 龍照** 1968年岡山県出身(49歳)／学歴:岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒／専門分野:哲学(宗教哲学)／沖縄県内にて年間多数の住宅・墓の起工式(地鎮祭)を担当しつつ、「琉球・沖縄の年中行事・葬式・法事」に関する講演活動を行う／あがり浜カルチャーセンター、ウェル・カルチャースクール、ペアレ沖縄・タビックにて「沖縄の年中行事・入門講座」を開講中

ホームページ:<http://www.kozazankyuvooji.com/> ブログ:<http://ameblo.jp/kozazankyuvooji>

**【質問をお寄せください】** 年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q & A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は19面をご覧ください。